

お灸

長谷川時雨

青空文庫

お灸きうずきの祖母が日に二三度づつお灸をすゑる。もの心覺えてから灸點の役が、いつかあたしの仕事になつてゐた。五百丁の巴ともゑもぐさをホグして、祖母の背中の方へまはると、小さい燭しよく臺だいへ蠟燭をたて、その火をお線香にうつして、まづ第一のお灸を線香でつらぬき、口の中でブツブツ言つて、體中を手早く御祈禱するやうな手附きをした。いづれなんとか文句があつたのであらうが、おそはつた時から忘れてゐるのだ。祖母が沈香ぢんかうをもつてゐたのと、指ゆびをやけどしたりすると、チチンカンブンと口で吹きながらいつたのを、ごつちやにして、なんでも、

沈香御祈禱、チチンカンブン、チチンカンブンとごまかしたやうだつた。

その祖母が、自分が灸ずきなのばかりではなく、あたしにも日に二三度すゑなければ承知しなかつた。弱いからといつて——お行儀が悪いからといつて——ハイと言はなかつたからといつて——

だが、あたしの弱かつたのはお灸のせゐだと今いまでは思つてゐる。なぜならば、膏汗あぶらあせと精根せいこんを五ツ六ツのころから絞しぼりつくしてゐるのだ。ごめんなさいといったからとて許してくれるものではない、泣けば泣くだけ多くすゑられる。逃げればいよいよ悪化する。

跳ねかへさうとすれば、母の大きな肥えた體が、澤庵漬のやうに細つこいあたしの上に
乗つて、ピシャンコにつぶしてしまふ。まったく或時は、涙とよだれと鼻と汗で、平べつ
たくなつてしまつて起きあがられない事もあつた。そんな時は圖々しいといつて、短氣な
母の平打ちがピシヤリピシヤリと來て、悪くするとも一度熱い目にあはされたりした。そ
して、その祖母といふ女と、母といふ女と、二人の年長者は言つた。

「家の子は仕置きがきいておとなしい、それにどうやら體も丈夫になつた。」

子供たちは支那金魚の目玉のやうに、灸のあとのフクレたのを見て悲しみあつた。ホテ
つて痛むこともあつた。ことにあたしはそれがひどかつた。兩方の人差指の根もと、足の
中指の根もと、おへその兩ワキのは動くので焼けあとが大きかつた。背中は八ツ目鰻の目
のやうだといはれた。

父はよく悲しがつて女の人たちに言つてゐた。

「肩だけへはすゑてくれるな。洋服を着たときに困る」

それ、また、洋服なんて——お父さんが悪いと叱られてゐた。

×

震災のしであつた。あたしの體はグツと悪く、心も身もクタクタだつた。ある雑誌社

の方から親切にお灸をすすめられた。それは肩である。手の甲の眞ん中である。あたしは吐息をついた。父の悲し^{かな}がつた言葉を思ひだしたから。

しかし、灸點師は火をクツツケてしまった。その後、小さい女中がすゑてくれることになったが、十六の小娘のすゑるお灸がバカに熱くてこらへられなかった。ジリジリと焦げる様子がをかしいので氣をつけると、それはわざとぢかに火をあててゐるのだつた。お灸をつけておくれといふと大きく丸めて火をつけて、わざと背中を轉^{ころ}がす——がまんしてゐると、ますます大きくして熱^{あつ}がるかと様子を見てゐる。

あたしは熱^{あつ}がりながら十一二で、おとなしくして、羽^は箒^{ほうき}をもつて、どんなにしたら具合よくゆくかと、細かく神^{しん}經^{けい}をつかつて祖母の背中にむかつてゐた自分の姿を思ひ出してゐた。そして自分の後^{うしろ}に心で笑^{わら}つてゐる娘^{むすめ}を見てゐた。その娘は非常に醜^{みにく}くて青い鼻汁^{はな}をグスグスイはせてゐるが、××様があたしをくどくのなんのと書いた紙^{かみ}を捨ておいて、いつもあたしを困らせてゐるのだつた。氣をつけて——と頼^{たの}むよりは、他^{ひと}の手をかりなければならぬことで、しかも亡父があればど氣にしてくれた肩^{かた}なのだから、お灸の養生法はそれきりで中止してしまつた。

×

大きな灸やいとを心にすゑて苦しむ——それは別の心ゆかせもあらうが、さういふ意味でなく、自分を叱るお灸も心にすゑなければならぬ。折々思ひだされるのは、もぐさの匂ひと、むかしあたしの膝ひざの前にすわった祖母と、ついこの間、後から腰へ膝を押しつけたあの娘との、肉體からだを焼くやお灸についての異なる感じである。

（「不同調」 昭和三年）

青空文庫情報

底本：「桃」中央公論社

1939（昭和14）年2月10日発行

初出：「不同調」

1928（昭和3）年

入力：門田裕志

校正：仙酔ゑびす

2009年1月18日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

お灸

長谷川時雨

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>